

鮮やかな細工に江戸時代の社殿様式を伝える

すがじんじゃほんでん
須賀神社本殿



へいあんじょうわ
平安時代の承和年間（834～848）に、京都のやさかじんじゃかんじょう
八坂神社を勧請したと伝えられ
る神社です。本殿は、さんげんしゃながれづく
三間社流造りで、屋根は板葺、いたぶきくみものわようでぐみ
組物は和様出組を用い、
にわとりみずとりごくさいしきかえるまたわきしょうじのぼ
鶏や各種の水鳥など極彩色の墓股を入れています。また、脇障子には、昇り・
くだ
降りの竜が刻まれています。建築年代は17世紀後半で、江戸時代前期の建築様式
を忠実に伝える代表的な社殿建築です。

県指定文化財：有形文化財（建造物）

指定年月日：昭和54年3月21日

所在地：木更津市祇園524

所有者：宗教法人 須賀神社

員数：1棟

公開・非公開の別：非公開
